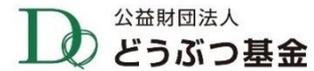


多頭飼育崩壊現場支援報告書



申請 No.10

申請日：2018年9月7日

申請団体/実施責任：福津市うみがめ課清掃対策係

場所：福岡県福津市

居住者：当事者本人（65歳、女）、息子（40歳）

居住環境：借家/2階建ての戸建て

生活保護の受給状況：受給している

多頭飼育現場の猫の総数：32頭

手術日：10月31日、11月3日、11月23日、12月27日

チケット発行数：50枚

協力病院：さくらねこ動物病院

手術頭数：30頭

※32頭中2頭が未手術（子猫1頭メス：手術月齢に達していないため、成猫1頭メス：捕獲できなかったため）

※手術の際にメス猫（16頭）に使用した抗生剤費用は飼い主が負担した

※チケット発行枚数と手術頭数に差異があるが、チケット申請時に猫の総数が把握できていなかったために多めに申請をした

申請から不妊手術完了までの経緯（報告書より）

1. もらってきた猫がメス猫を連れて来てしまい増えていった。
2. 当事者宅近隣住民からにおいや鳴き声について相談があったことから当事者から話を伺い、増加を防ぐ対策や増えてしまった猫の飼育が困難であると相談を受けた。
3. しかし収入が少ないのと猫が多すぎて手術が難しい。
4. 市にも予算が無く、飼い主も費用負担が出来ない為不妊手術以外に医療費や保護費がかかることは実施しない。
5. 猫の数が多いため飼えず、手術を終えた猫の引き取り先を探してくれるボランティアがあればお願いしたい。
6. 今後当事者は同じところに住み続ける。問題となっていたにおいも軽減された。
7. 手術後の猫は飼い主が継続して飼育する。

手術日	オス	メス	耳カットのみ	計
10月31日	0	3	0	3
11月3日	5	8	0	13
11月23日	9	4	0	13
12月27日	0	1	0	1
計	14	16	0	30

現場写真（支援前）



現場写真（支援後）



今回の取り組みを振り返り、改善すべき点や今後の配慮事項（報告書より）

- ・全頭手術を終えることができなかった。
- ・今後飼い主の自己負担により残り 2 頭の不妊手術を実施する予定だが現段階では手術費の為に金銭的な余裕がないため今すぐには実施できないようだ。

どうぶつ基金スタッフコメント

今回の案件は、行政に寄せられた近隣住民の相談から多頭飼育が発覚、飼い主も増えすぎた猫に困りながらも、金銭的な面から手術をすることが出来なかった。行政側からのアプローチにより手術することが出来き、繁殖をコントロールすることに成果を上げた事例と思う。

しかしながら、捕まらず 1 頭の成猫は未手術（捕獲、病院までの運搬は飼い主が行った）、手術月齢に達していなかった子猫を含めて 2 頭が未手術という結果になった。事前の捕獲から手術までの計画をもっと詳細に練るべきであったと感じる。

今後は適正飼育に努め、未手術猫の早期手術を実施してもらいたい。